

より精度の高い農地パトロールの実現に向けて

村田町農業委員会では、農地の荒廃を未然に防ぐため、農地パトロールに力を注いでいる。農地を調査するためには、現地で携帯できる正確な地図の整備が必須だ。そこで農地集積・集約化対策事業費補助金を活用し、町内全域の航空写真・地番図・土地台帳データをリンクさせ、農地のみならず地番及び着色表示することで対象農地をピンポイントに調査できる地図を作成。



この地図は農地パトロールのみならず、耕作放棄地解消の一翼を担う。モバイル化が主流となる中、あえてアナログの地図にこだわった理由は、同じ地図を用いることにより、委員の担当地区だけでなく、町内全体における農地の状況や今後の対策を委員全員で情報共有化できることにある。

農地は、一度耕作をやめて数年経つと原形を失うほど荒れ、害虫の棲み処になるだけではなく、粗大ごみなどの不法投棄場所や悪臭や汚水の発生源となり、近隣農地へ多大な迷惑をかけてしまうことになる。

本年度は、航空写真が刷新されることや現場で使った感想を踏まえ、さらにコンパクトで利便性に優れた地図作成に取り組み、精度の高い調査を実現する予定だ。